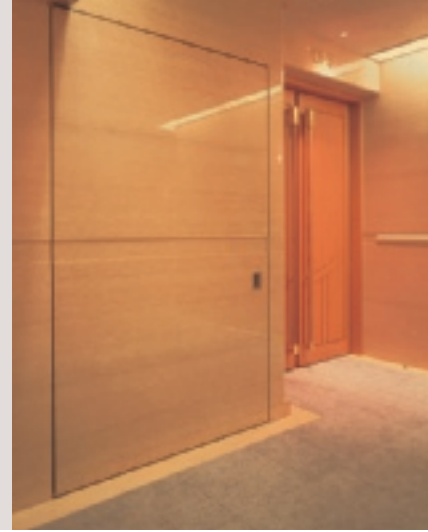


# 防火ドア

万が一の時に自動閉鎖。炎の通り道を閉ざして  
火災の延焼防止に威力を発揮する“常時開放式防火戸”。

建築物の火災の拡大および延焼を防止し、避難の安全性を確保するために、建築基準法で防火戸の設置が義務づけられています。“常時開放式防火戸”は防火戸の構造規定に基づき、電磁リリースなどで自動的に閉鎖する機構をもたせた信頼性の高い「防火ドア」です。ドアの収納スペースが少ないときには“折戸”にすることもできます。また、避難路に設置する防火ドアで、扉1枚の大きさが3㎡を超える場合、建築基準法により“潜戸”（有効開口の幅750×高さ1,800以上）の設置が義務づけられています。



●常時開放式防火戸（石貼り）

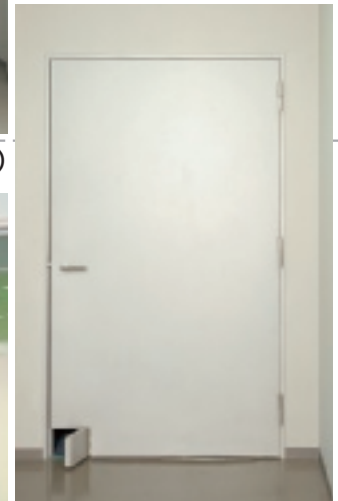


●常時開放式防火戸（潜戸つき）



（閉扉時）

●常時開放式防火折戸（平常時）

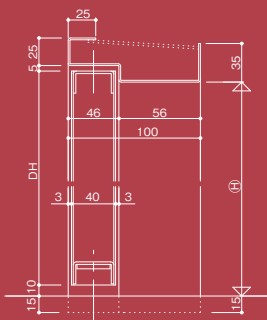


●消防ホース引込口つき防火戸

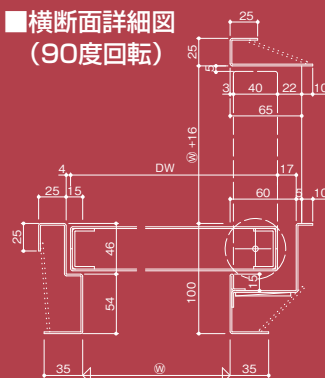
## 常時開放式防火戸

【単位：mm】

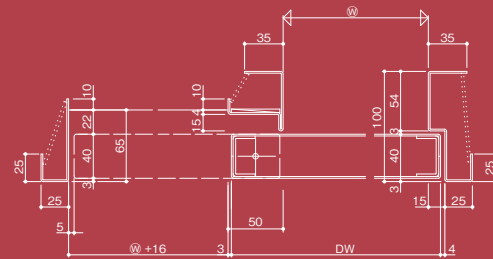
### ■縦断面詳細図



### ■横断面詳細図 （90度回転）



### （180度回転）



### ■標準仕様

- 扉 表面材：溶融亜鉛めっき鋼板1.6t〔さび止め塗装〕
- 力 骨：溶融亜鉛めっき鋼板2.3t
- 中 骨：溶融亜鉛めっき鋼板1.6t
- 枠：溶融亜鉛めっき鋼板1.6t/2.3t〔さび止め塗装〕

### ■標準寸法

- 扉見込：40mm/50mm
- 枠見込：100mm

### ■標準金物

- オートヒンジまたはフロアヒンジ
- 空錠
- （消防ホース引込口）

# 大型ドア

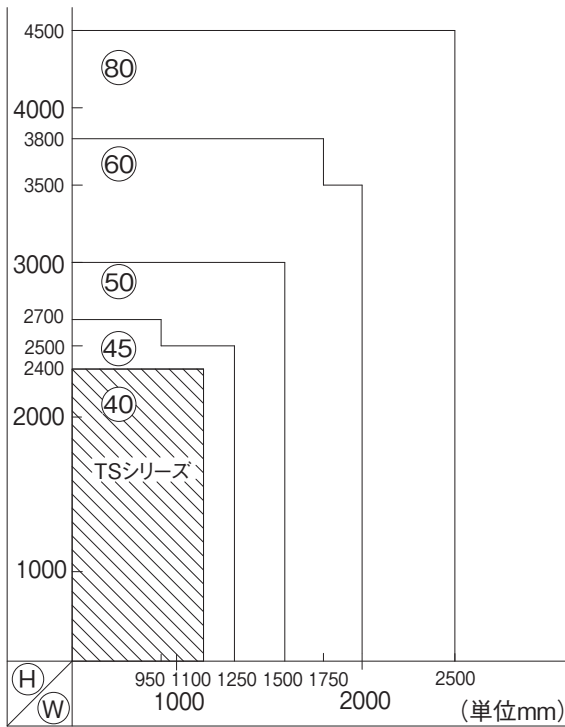
扉厚40mmを超える大型ドアについて、標準化しました。

扉の最大サイズは $\text{W}2,500 \times \text{H}4,500$  (両開きで $\text{W}5,000 \times \text{H}4,500$ ) 迄対応可能になりました。

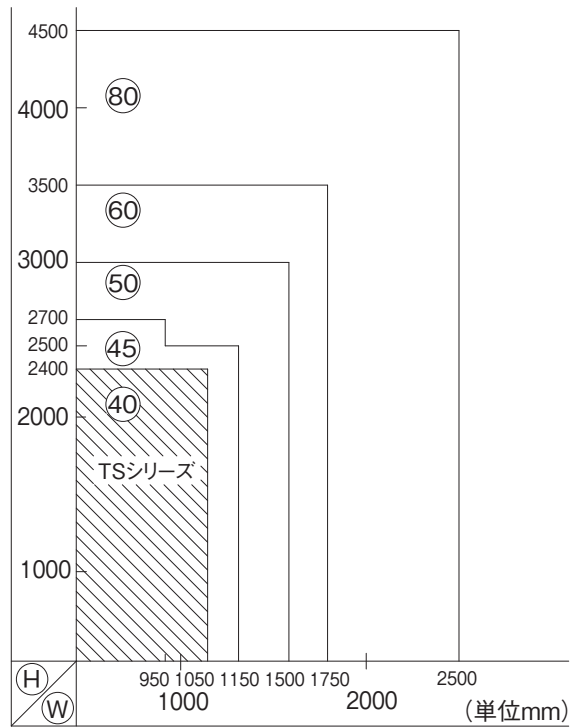
## 注意事項

外部に設置する大型ドアは、風にあおられやすいため、人の出入り口に使用の場合は、潜り戸が必要となります。

## 設計範囲



<一般ドア・SAT・PATドア仕様範囲>

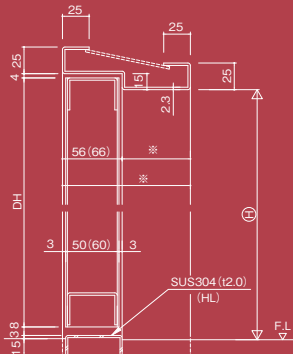


<PAT-RB、RAドア仕様範囲>

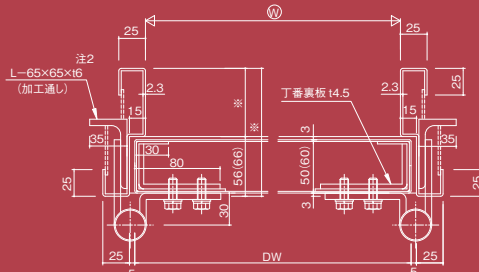
④①、④⑤、④⑤①、④⑥①、④⑧①は扉厚を示します。

[単位：mm]

### ■縦断面詳細図



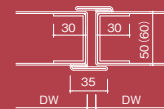
### ■横断面詳細図



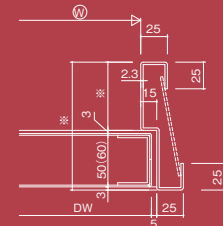
注1. ※印寸法は、現場納まりにより設定  
注2. L-65×35×16も可

内部用、扉厚50、60の詳細図

### ■召合せ詳細図



### ■戸先詳細図



### ■標準仕様

- 扉 表面材：溶融亜鉛めっき鋼板1.6t〔さび止め塗装〕
- 力 骨：溶融亜鉛めっき鋼板2.3t
- 中 骨：溶融亜鉛めっき鋼板2.3t
- 枠：溶融亜鉛めっき鋼板2.3t〔さび止め塗装〕
- くつすり：ステンレス鋼板2.0t〔ヘアライン仕上げ〕

### ■枠見込

扉厚	ドア種類		
	一般	SAT	PAT
45	90	105	110
50	100	115	130
60	120	135	140
80	150	165	170



